

# 中国先進地域における電気自動車普及政策に関する基礎研究

## —北京、上海、天津、深圳を中心に

ワン ジンイエ

キーワード：電気自動車、パイロット都市、補助金政策、平均収入、充電施設、電気自動車普及度

摘要：電気自動車の発展と普及は中国に新たなチャンスを提供する。具体的には、石油依存度を減らし、エネルギー安全供給を高め、二酸化炭素などの排気ガスを減らし、空気質指数の改善、そして、電気自動車の世界市場における先進的地位を占めている。中国政府は、自動車産業、特に電気自動車を中心とした次世代車の普及と発展をさせるため、様々な政策を計画を策定及び実施している。国内外の多くの研究者は中央政府が公布した国レベルの電気自動車政策に関心を持っている。しかし、中国内の格差が非常に大きいため、電気自動車の普及度は大分異なっている。本論文は、中国の先進地域を中心に、特に北京、上海、天津、深圳四つのパイロット都市の地方政府独自の推奨政策を研究している。

まず、今まで、中央政府と地方政府が実施されている優遇政策を整理している。そして、研究方法として、ピアソン相関係数テストを使用し、電気自動車普及度と消費者向けの補助金、平均収入、充電施設の相関関係を究明している。四つの都市では、電気自動車の普及度は平均収入と充電の便利さが強く関わっているが、消費者向けの補助金金額との相関性はないである。最後、アメリカのサンフランシスコベイエリアを先進的な例として、比較研究を行っているから、中国政府に今後の発展に向け、提言する。具体的には、補助金は消費者から研究開発へ移転させ、外資メーカー向けの関税を減らさせ、公共交通や公用車に電気自動車をスプレッドさせ、充電インフラを更に増えるようなことを提言する。